

『第177回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2019年 7～9月期の実績 2019年 10～12月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	109社
(業種別内訳)	製 造 業 31社	卸 売 業	10社
	小 売 業 21社	サ ー ビ ス 業	15社
	建 設 業 21社	不 動 産 業	11社
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

☆ 目 次 ☆

概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 … 「消費税率引上げの影響と対応について」①	P. 19
特別調査 … 「消費税率引上げの影響と対応について」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



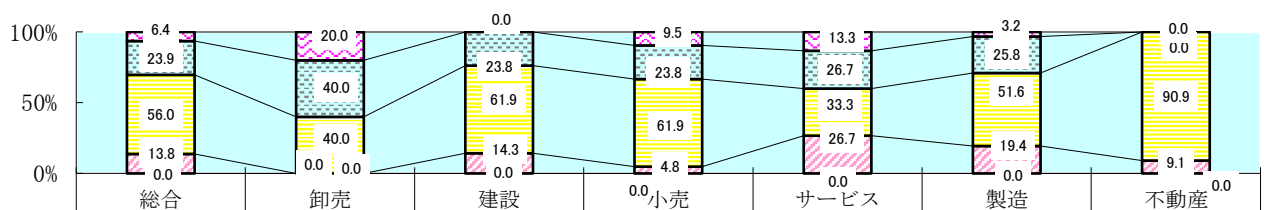
道南うみ街信用金庫



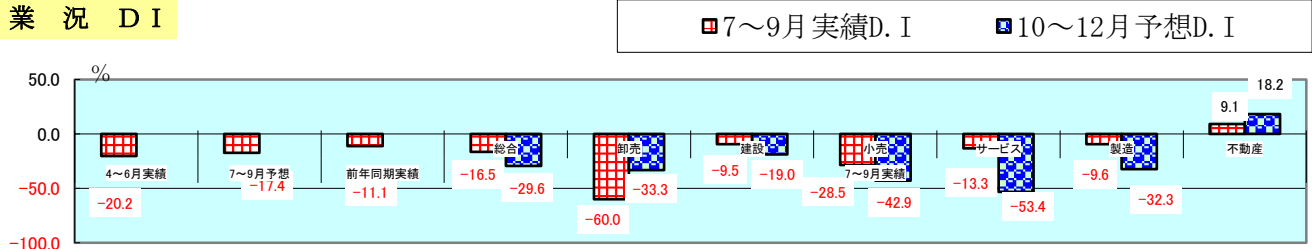
1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-20.2	
7～9月予想							-17.4	
前年同期実績							-11.1	
7～9月実績	総合	0.0	13.8	56.0	23.9	6.4	-16.5	-29.6
	卸売	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	-60.0	-33.3
	建設	0.0	14.3	61.9	23.8	0.0	-9.5	-19.0
	小売	0.0	4.8	61.9	23.8	9.5	-28.5	-42.9
	サービス	0.0	26.7	33.3	26.7	13.3	-13.3	-53.4
	製造	0.0	19.4	51.6	25.8	3.2	-9.6	-32.3
	不動産	0.0	9.1	90.9	0.0	0.0	9.1	18.2

業 況 7月～ 9月実績



業 況 D I



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’19年7月～9月期の業況判断D. I. は△16.5で4～6月期（前期）と比べ3.7ポイント上昇、前年同期比では5.4ポイント悪化を示しました。

今期売上判断D. I. は、前期実績D. I. △7.3から3.7ポイント下降し、前回調査における今期の予測D. I. △8.2からも2.8ポイントの悪化を示しました。

’19年10月～12月期（来期）の予想業況判断D. I. は△29.6と、今期実績比13.1ポイントの悪化が予想されており、経営者のマインドは業況の下降と見ています。

○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫地域・中小企業研究所調べ）

’19年7～9月期（今期）の業況判断D. I. は△4.7、前期に比べ1.4ポイントの小幅低下となった。

収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△3.5と前期比1.8ポイント低下、同収益判断D. I. は△6.1と同1.4ポイント低下した。販売価格判断D. I. は同1.9ポイント低下してプラス4.0となった。人手過不足判断D. I. は△27.0と前期比0.4ポイント人手不足感が緩和した。設備投資実施企業割合は0.8ポイント上昇して22.9%と、27年ぶりの高い水準まで上昇した。業種別の業況判断D. I. は、全6業種中、小売業と建設業を除く4業種で低下した。地域別では、全11地域中、改善は3地域にとどまり、8地域が低下となった。

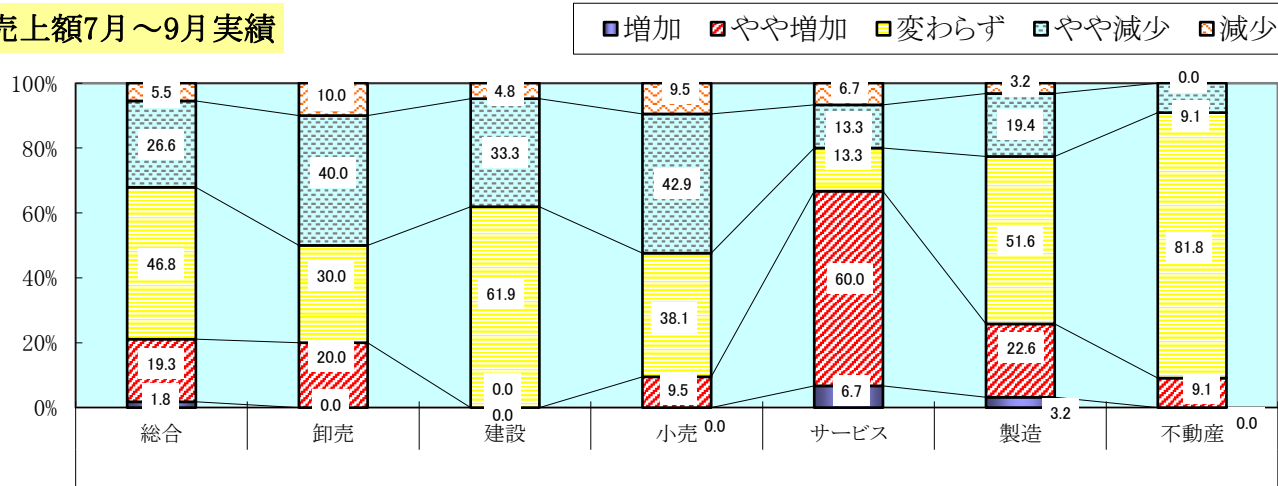
’19年10～12月期（来期）の予想業況判断D. I. は△6.1、今期実績比1.4ポイントの低下と、慎重な見通しである。業種別には、全6業種中5業種で、地域別には全11地域中7地域で、それぞれ低下する見通しにある。

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-7.3	
7～9月予想							-8.2	
7～9月実績	総合	1.8	19.3	46.8	26.6	5.5	-11.0	-18.3
	卸売	0.0	20.0	30.0	40.0	10.0	-30.0	-10.0
	建設	0.0	0.0	61.9	33.3	4.8	-38.1	-33.3
	小売	0.0	9.5	38.1	42.9	9.5	-42.9	-14.3
	サービス	6.7	60.0	13.3	13.3	6.7	46.7	-59.9
	製造	3.2	22.6	51.6	19.4	3.2	3.2	-9.7
	不動産	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	27.3

売上額7月～9月実績



売上額 D. I

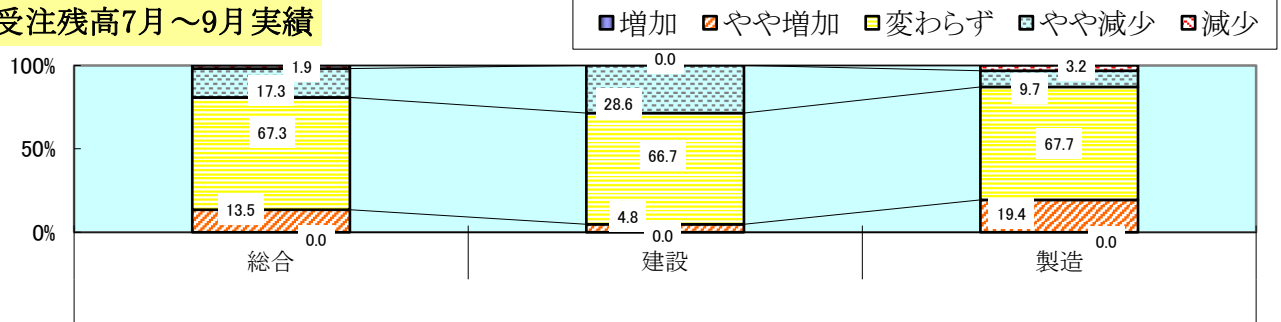


- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の21.1%、「減少」「やや減少」した企業は32.1%を示し、D. I. は△11.0となりました。
- 今期売上判断D. I. は、前期実績D. I. △7.3から3.7ポイント下降し、前回調査における今期の予測D. I. △8.2からも2.8ポイントの悪化を示しました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で46.7ポイントと増加を示したが、小売業で△42.9ポイント、建設業で△38.1ポイント、卸売業で△30.0ポイントと大幅な減少となった。
- 10～12月期の売上額予想D. I. は△18.3で、7～9月実績対比7.3ポイントの減少と予想しています。

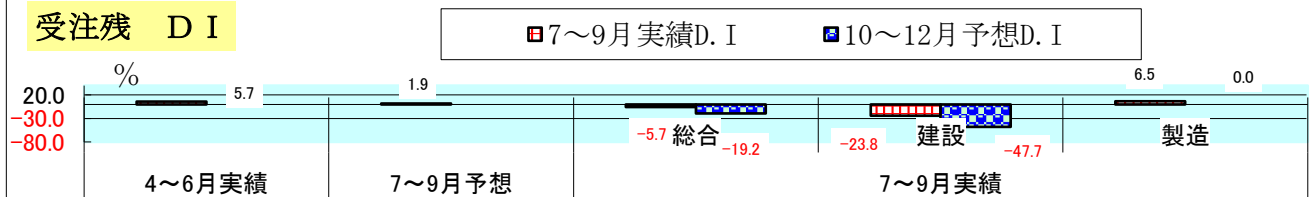
(2) 受注残・施工高の動き

受 注 残 高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							5.7	
7～9月予想							1.9	
7～9月実績	総合	0.0	13.5	67.3	17.3	1.9	-5.7	-19.2
	建設	0.0	4.8	66.7	28.6	0.0	-23.8	-47.7
	製造	0.0	19.4	67.7	9.7	3.2	6.5	0.0

受注残高7月～9月実績

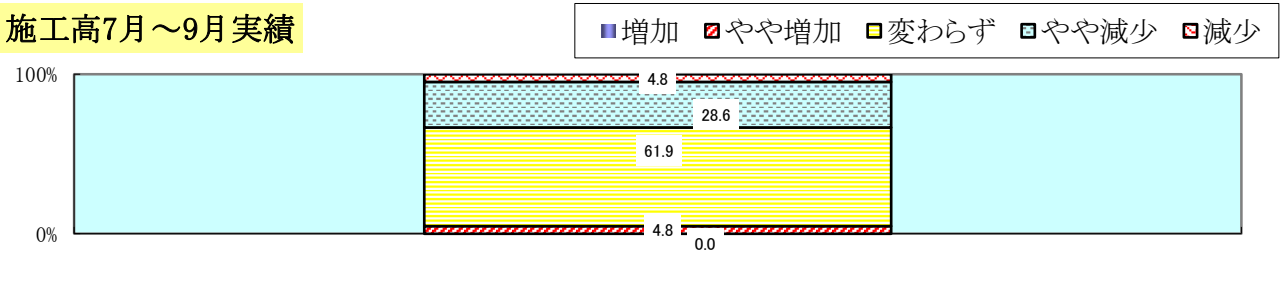


受注残 D I

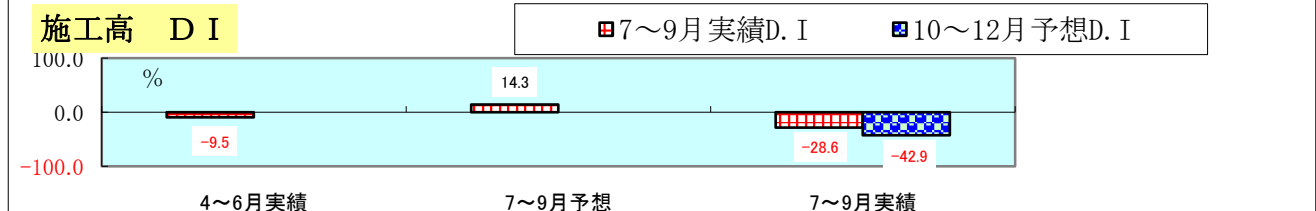


施 工 高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-9.5	
7～9月予想							14.3	
7～9月実績		0.0	4.8	61.9	28.6	4.8	-28.6	-42.9

施工高7月～9月実績



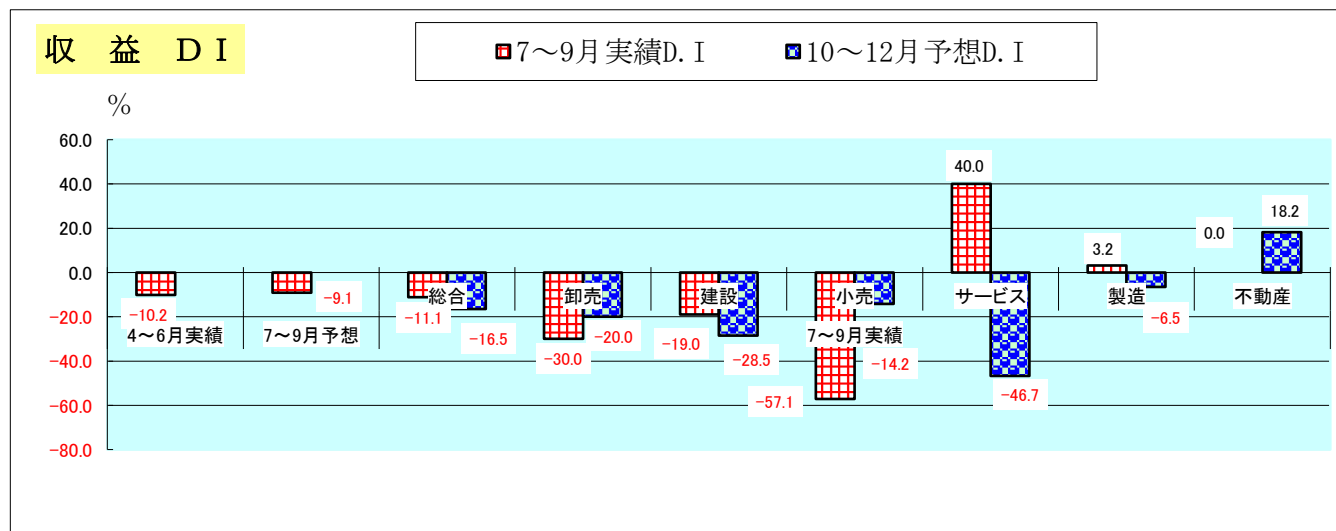
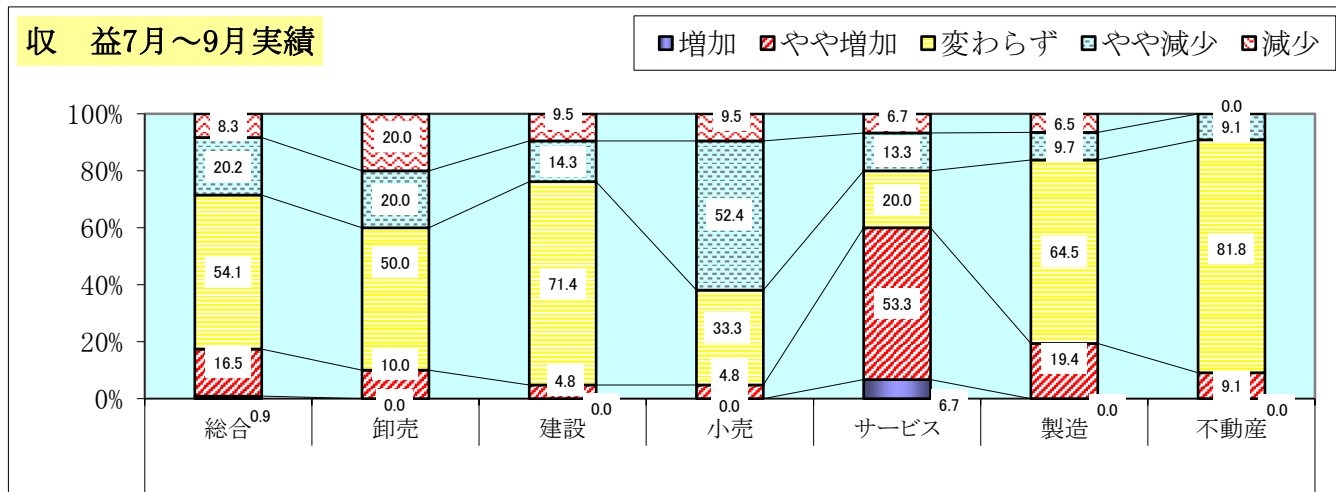
施工高 D I



- 受注残(製造業、建設業のみ)D. I. は△5.7で前期実績のD. I. に対し11.4ポイント下回った。前期調査における今期の予想D. I. 1.9に対しては7.6ポイント下回りました。
また、10～12月期の受注残予想D. I. は△19.2で、今期実績対比13.5ポイントの減少を予想しています。
- 施工高(建設業のみ)D. I. は△28.6で、前期実績D. I. △9.5に対し19.1ポイントの下回りとなった。
前回調査における今期予想D. I. 14.3に対しても42.9ポイント下回りました。
また、10～12月期の施工高予想D. I. は△42.9で、7～9月実績対比14.3ポイントの減少と予想しています。

(3) 収益の動き

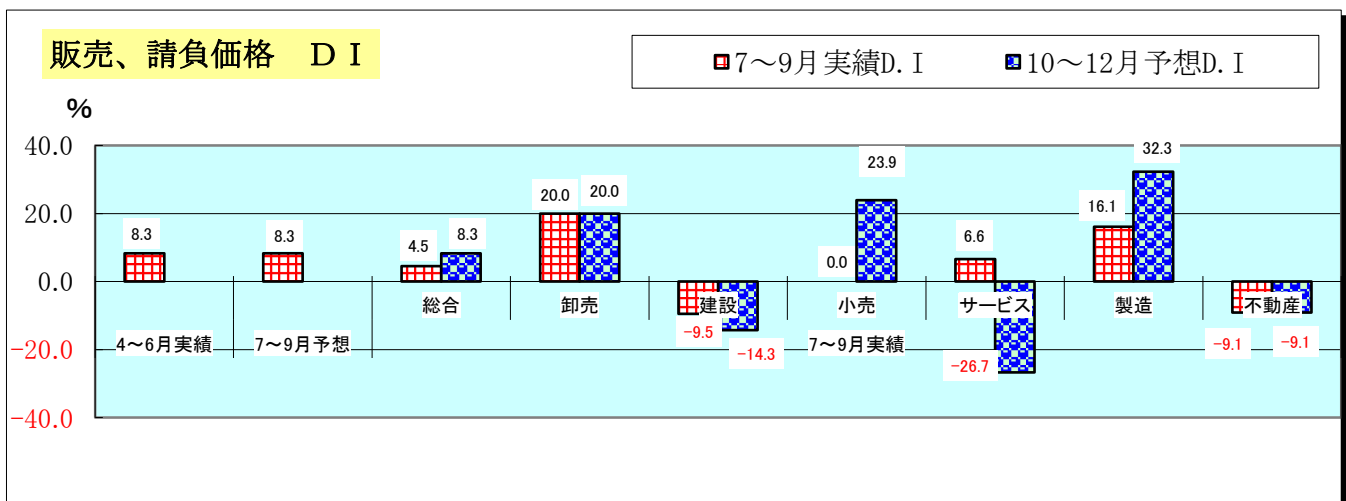
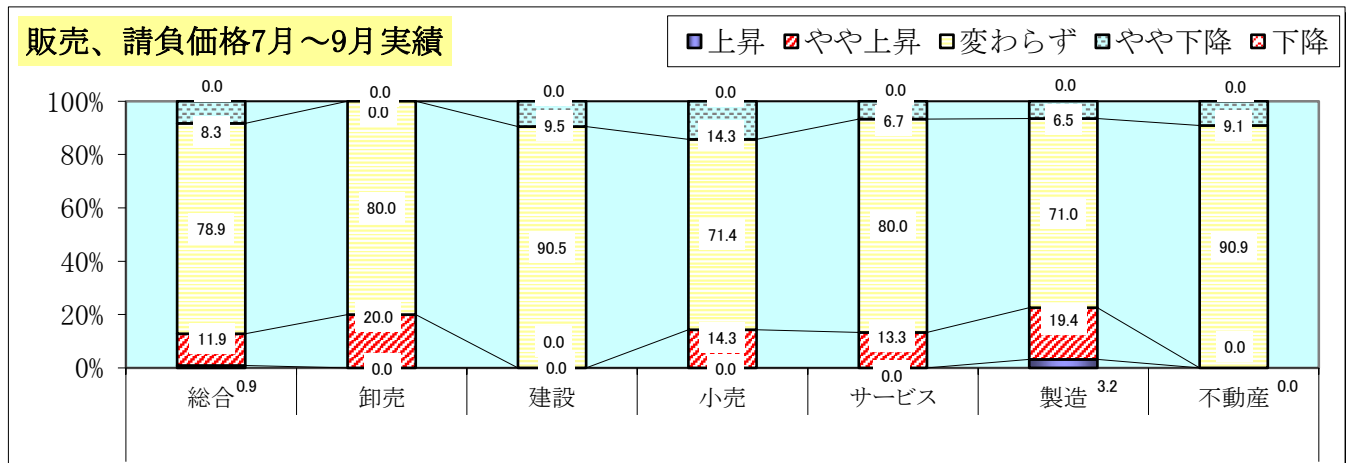
収 益 の 動 き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-10.2	
7～9月予想							-9.1	
7～9月実績	総合	0.9	16.5	54.1	20.2	8.3	-11.1	-16.5
	卸売	0.0	10.0	50.0	20.0	20.0	-30.0	-20.0
	建設	0.0	4.8	71.4	14.3	9.5	-19.0	-28.5
	小売	0.0	4.8	33.3	52.4	9.5	-57.1	-14.2
	サービス	6.7	53.3	20.0	13.3	6.7	40.0	-46.7
	製造	0.0	19.4	64.5	9.7	6.5	3.2	-6.5
	不動産	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	18.2



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は17.4%、「やや減少」「減少」した企業は28.5%でD. I. は△11.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D. I. △10.2から0.9ポイント下回り、前回調査における今期予想D. I. △9.1に対しても2.0ポイント下回りとなった。
- 業種別の今期D. I. はサービス業が40.0ポイントの増加となったが、小売業で△57.1、卸売業で△30.0、建設業で△19.0ポイントと減少が顕著となっている。
- 10～12月期の収益予想D. I. は△16.5で、7～9月実績より5.4ポイントの悪化と予想しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							8.3	
7～9月予想							8.3	
7～9月実績	総合	0.9	11.9	78.9	8.3	0.0	4.5	8.3
	卸売	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	建設	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	-9.5	-14.3
	小売	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	23.9
	サービス	0.0	13.3	80.0	6.7	0.0	6.6	-26.7
	製造	3.2	19.4	71.0	6.5	0.0	16.1	32.3
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1

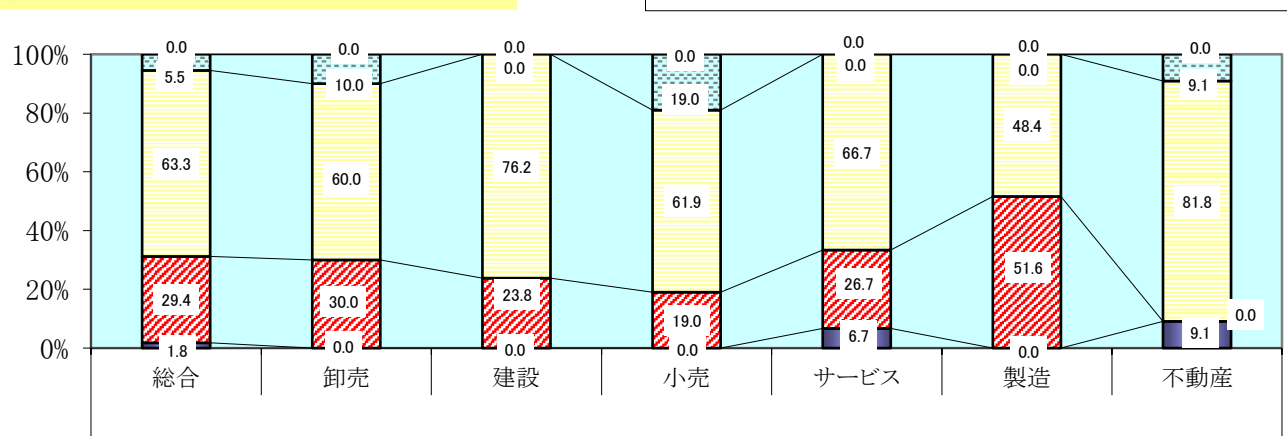


- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が12.8%、「やや下降」「下降」と回答している企業が8.3%で、D. I. は4.5となりました。
- 今期実績は前期実績D. I. 8.3から3.8ポイント下回り、前回調査における今期予想D. I. 8.3ポイントより3.8ポイント下回りとなりました。
- 業種別では、卸売業、製造業等が上昇傾向、建設業、不動産業が下降傾向を示しています。
- 10～12月期の販売価格予想D. I. は8.3で、7～9月期実績対比3.8ポイントの上昇と予想しています。

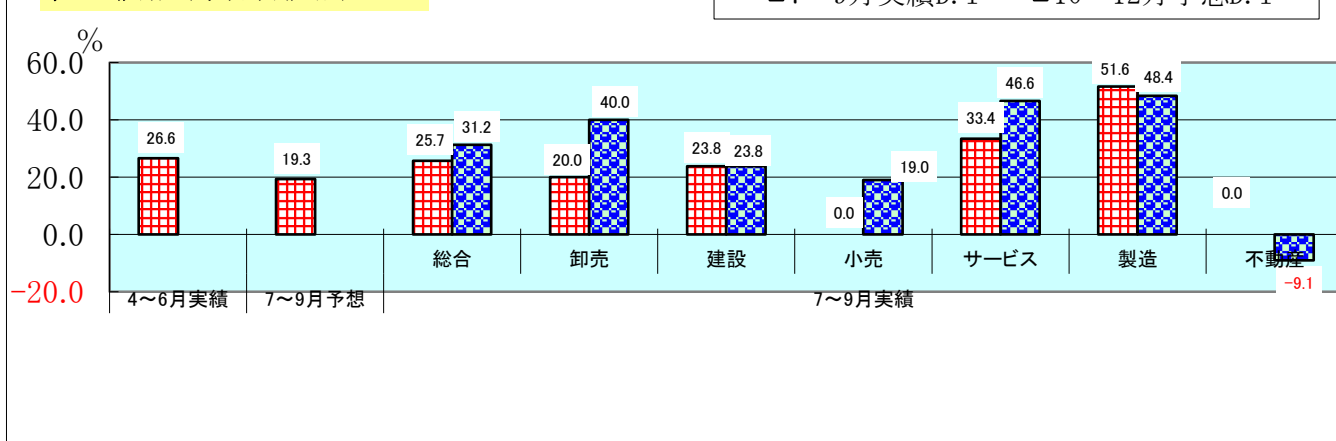
(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

仕 入 価 格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							26.6	
7～9月予想							19.3	
7～9月実績	総合	1.8	29.4	63.3	5.5	0.0	25.7	31.2
	卸売	0.0	30.0	60.0	10.0	0.0	20.0	40.0
	建設	0.0	23.8	76.2	0.0	0.0	23.8	23.8
	小売	0.0	19.0	61.9	19.0	0.0	0.0	19.0
	サービス	6.7	26.7	66.7	0.0	0.0	33.4	46.6
	製造	0.0	51.6	48.4	0.0	0.0	51.6	48.4
	不動産	9.1	0.0	81.8	9.1	0.0	0.0	-9.1

仕入価格（原材料価格）7月～9月実績



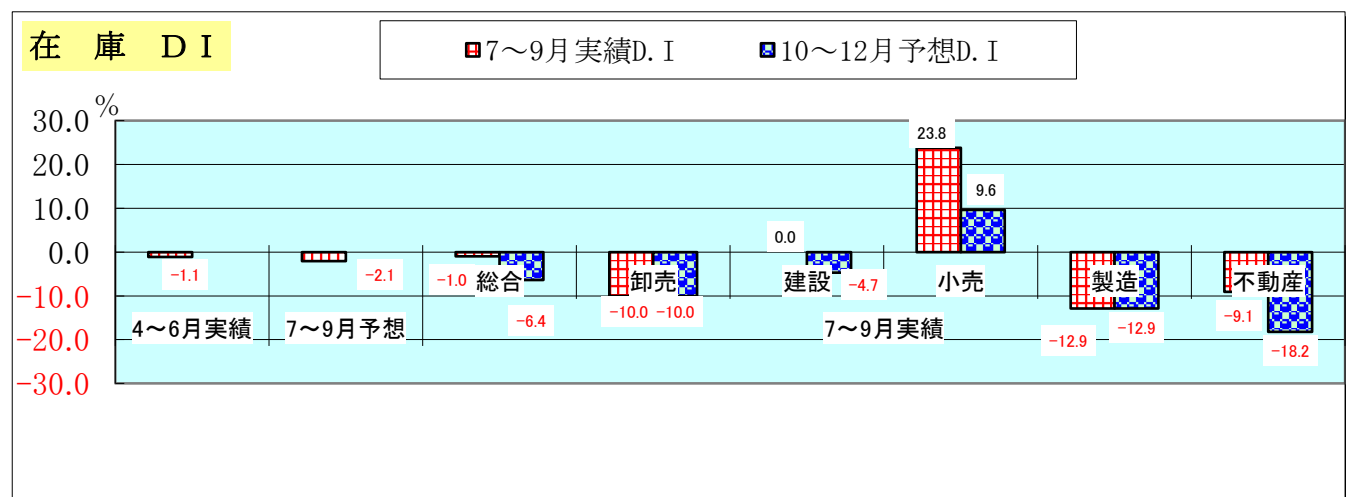
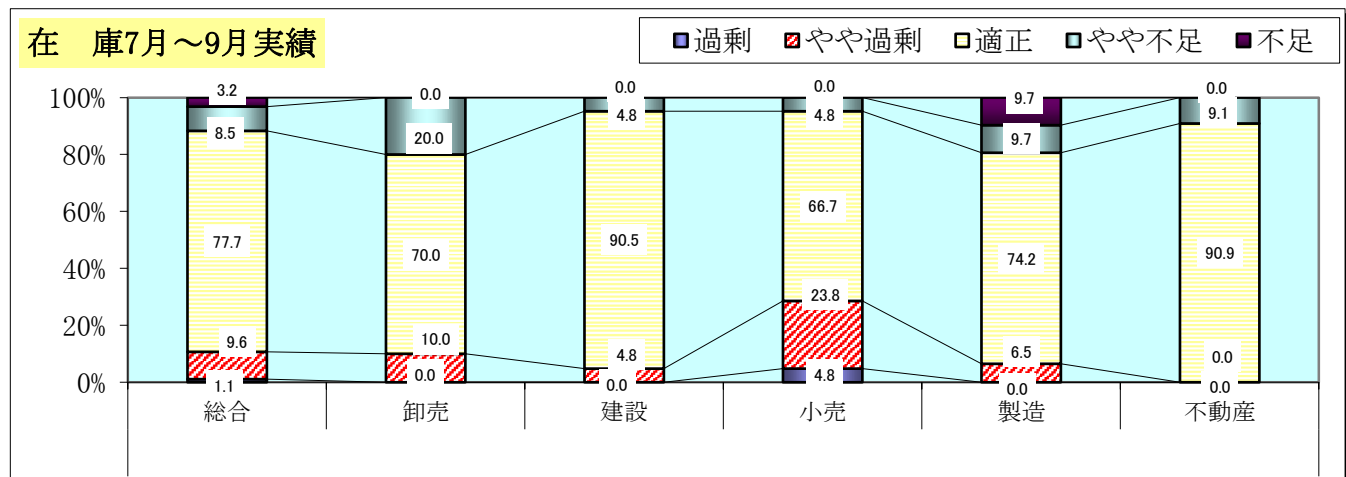
仕入価格（原材料価格）D I



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が31.2%、「やや下降」「下降」と回答している企業が5.5%で、今期実績D. I. は25.7となりました。
- 今期実績は、前期実績D. I. 26.6から0.9ポイント下降し、前回調査における今期予想D. I. 19.3に対しては6.4ポイントの上昇を示しました。
- 業種別では、小売業・不動産業は変化なし、他は全体的に価格の上昇傾向を示しました。
- 10～12月期の予想D. I. は31.2で、7～9月期実績対比5.5ポイントの上昇を予想しています。

(6) 在庫の動き

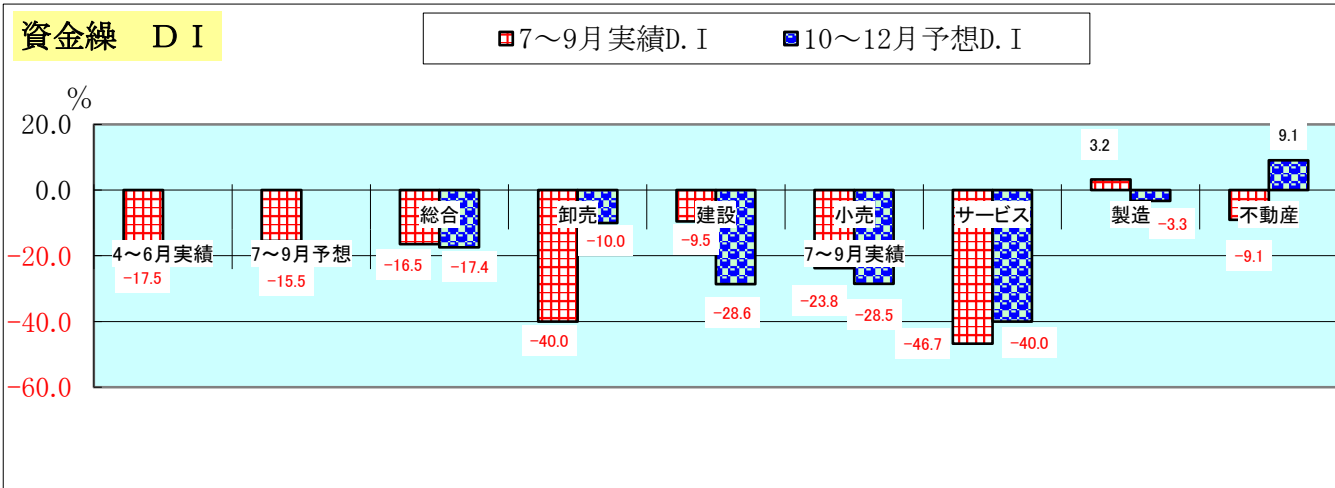
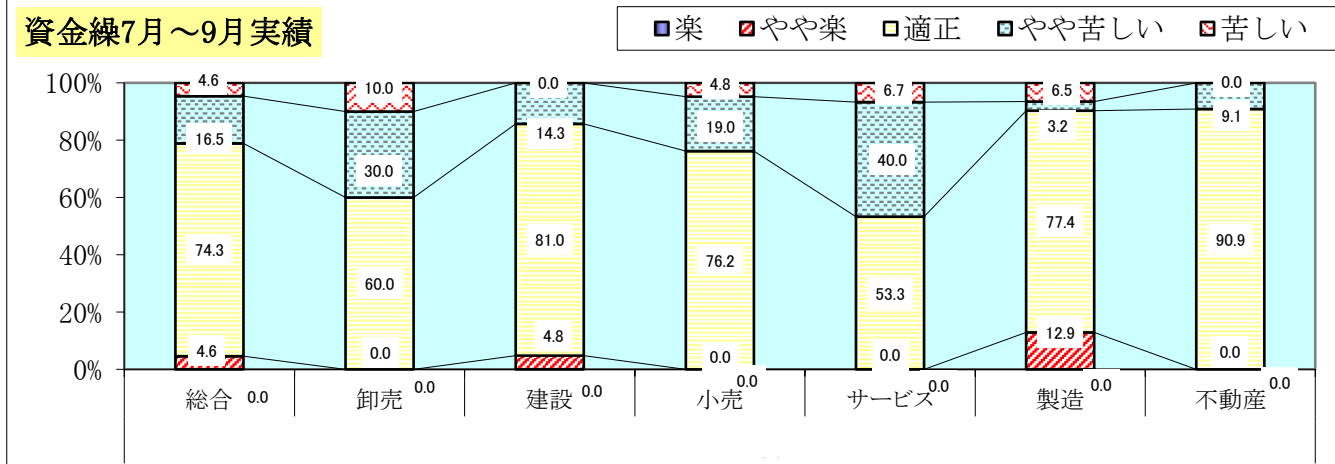
在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-1.1	
7～9月予想							-2.1	
7～9月実績	総合	1.1	9.6	77.7	8.5	3.2	-1.0	-6.4
	卸売	0.0	10.0	70.0	20.0	0.0	-10.0	-10.0
	建設	0.0	4.8	90.5	4.8	0.0	0.0	-4.7
	小売	4.8	23.8	66.7	4.8	0.0	23.8	9.6
	製造	0.0	6.5	74.2	9.7	9.7	-12.9	-12.9
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-18.2



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が10.7%、「やや不足」「不足」と回答している企業が11.7%で、今期D. I. は△1.0となりました。
- 今期実績は、前期実績D. I. △1.1から0.1ポイント増加、前回における今期予想D. I. △2.1に対しては1.1ポイントの増加を示しました。
- 業種別では、小売業で過剰を示し、建設業では適正となり、他は不足傾向となっている。
- 10～12月期の予想D. I. は△6.4で、7～9月期実績比5.4ポイントの在庫不足傾向を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資 金 繰		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-17.5	
7～9月予想							-15.5	
7～9月実績	総合	0.0	4.6	74.3	16.5	4.6	-16.5	-17.4
	卸売	0.0	0.0	60.0	30.0	10.0	-40.0	-10.0
	建設	0.0	4.8	81.0	14.3	0.0	-9.5	-28.6
	小売	0.0	0.0	76.2	19.0	4.8	-23.8	-28.5
	サービス	0.0	0.0	53.3	40.0	6.7	-46.7	-40.0
	製造	0.0	12.9	77.4	3.2	6.5	3.2	-3.3
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	9.1



- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が4.6%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が21.1%となり、今期D. I. は△16.5となりました。
- 今期実績は前期実績D. I. △17.5から1.0ポイント良化、前回調査における今期予想D. I. は△15.5からは1.0ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、製造業でゆとり有りを示し、他業種は資金繰りが苦しい状況を示しています。
- 10～12月期の予想D. I. は△17.4で、7～9月期実績比で0.9ポイント悪化となり、次期に於いては不動産業で、若干資金繰りが楽になると予想されます。

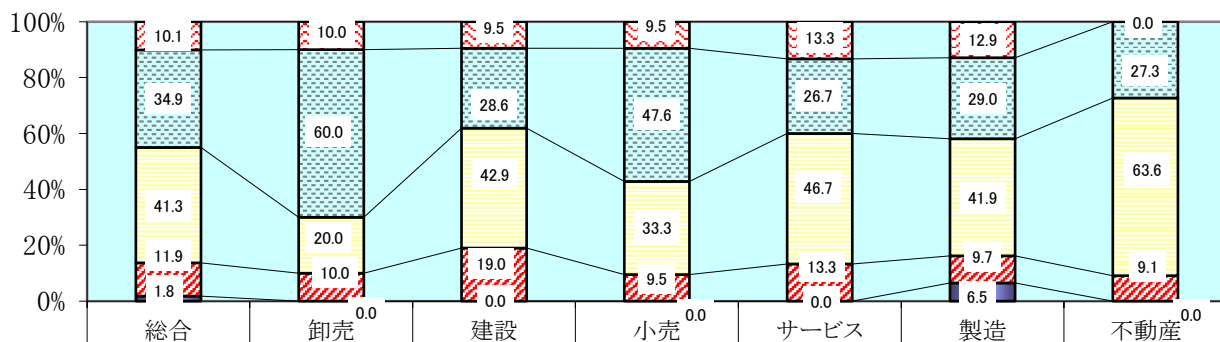
3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I
前年同期実績							-8.4
7～9月実績	総合	1.8	11.9	41.3	34.9	10.1	-31.3
	卸売	0.0	10.0	20.0	60.0	10.0	-60.0
	建設	0.0	19.0	42.9	28.6	9.5	-19.1
	小売	0.0	9.5	33.3	47.6	9.5	-47.6
	サービス	0.0	13.3	46.7	26.7	13.3	-26.7
	製造	6.5	9.7	41.9	29.0	12.9	-25.7
	不動産	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2

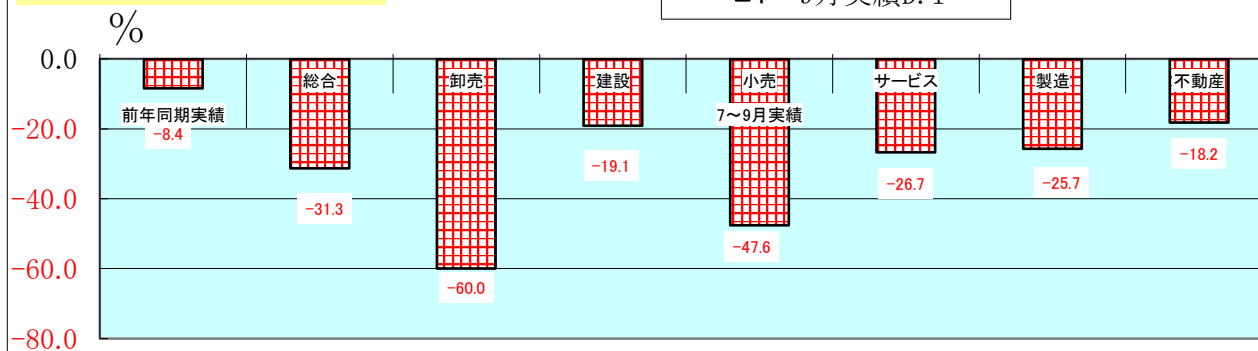
対前年同期比売上額7月～9月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比売上 D I

■7～9月実績D. I



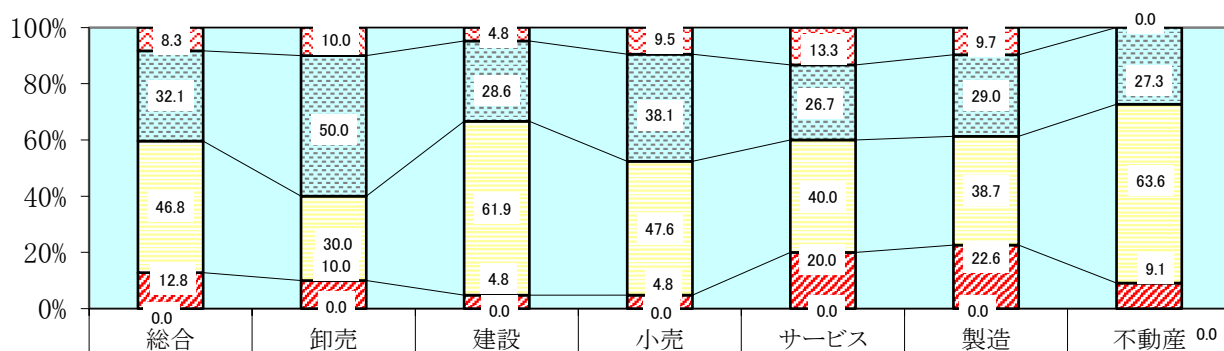
- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が13.7%、「やや減少」「減少」と回答している企業が45.0%で、今期D. I. は△31.3となりました。
- 今期実績は、前年同期実績D. I. △8.4に対し△22.9ポイントの悪化を示しました。
- 業種別では、全ての業種で減少傾向であるが卸売業・小売業の減少が顕著となりました。

(2) 収益

対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I
前年同期実績							-17.6
7～9月実績	総合	0.0	12.8	46.8	32.1	8.3	-27.6
	卸売	0.0	10.0	30.0	50.0	10.0	-50.0
	建設	0.0	4.8	61.9	28.6	4.8	-28.6
	小売	0.0	4.8	47.6	38.1	9.5	-42.8
	サービス	0.0	20.0	40.0	26.7	13.3	-20.0
	製造	0.0	22.6	38.7	29.0	9.7	-16.1
	不動産	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2

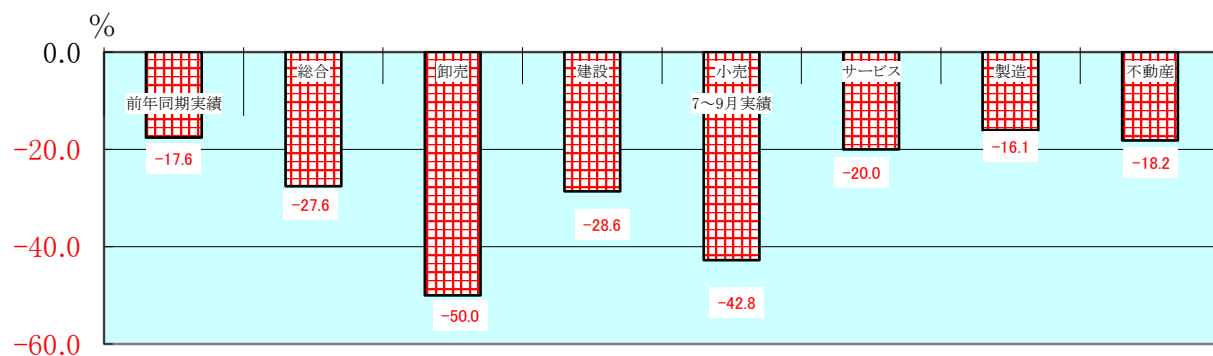
対前年同期比収益7月～9月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比収益 D. I

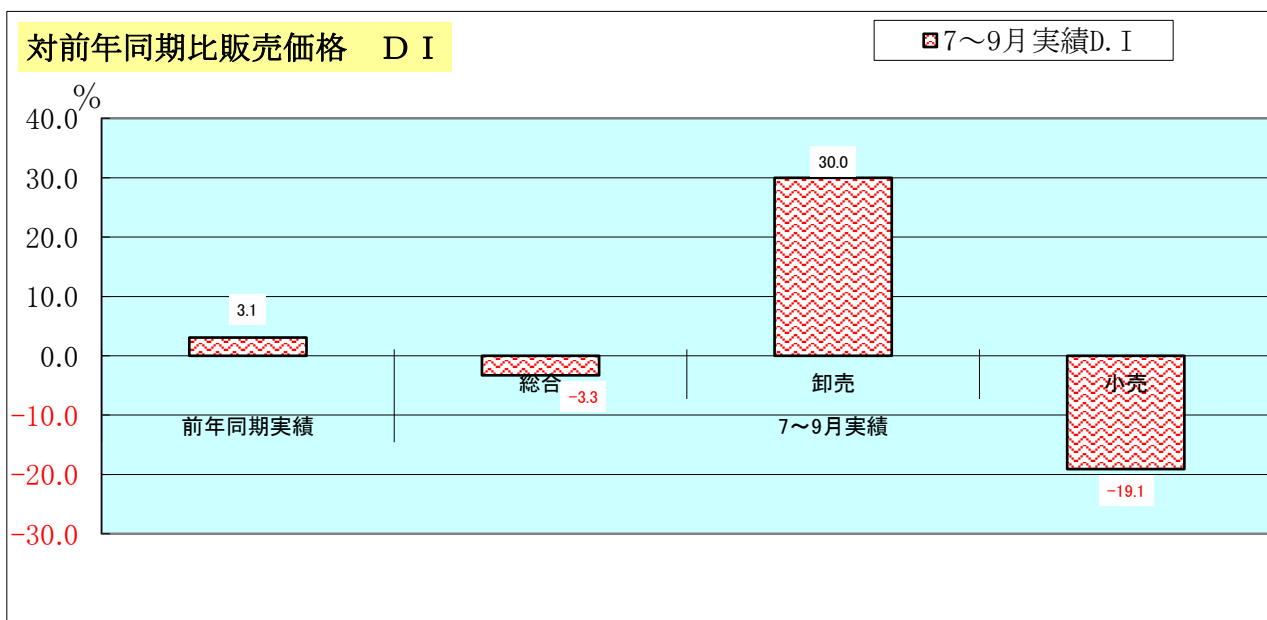
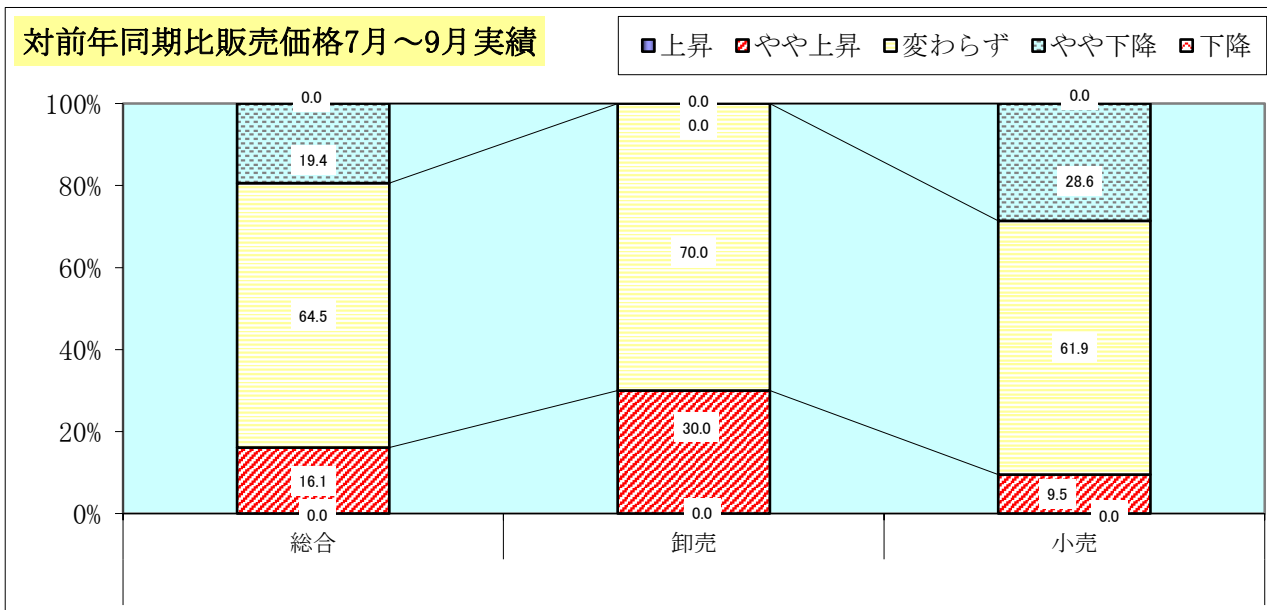
■7～9月実績D. I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が12.8%、「やや減少」「減少」と回答している企業が40.4%で、今期D. I. は△27.6となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. I. △17.6に対し、10.0ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、全ての業種で減少傾向となりました。殊に卸売業と小売業は大幅減少となった。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I
前年同期実績							3.1
7～9月実績	総合	0.0	16.1	64.5	19.4	0.0	-3.3
	卸売	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0	30.0
	小売	0.0	9.5	61.9	28.6	0.0	-19.1

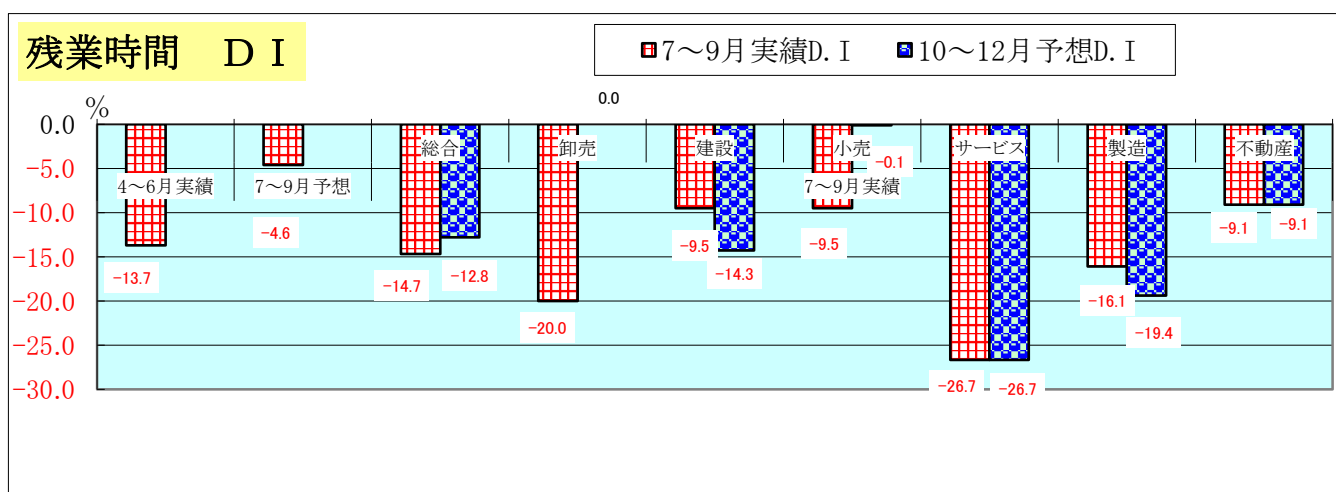
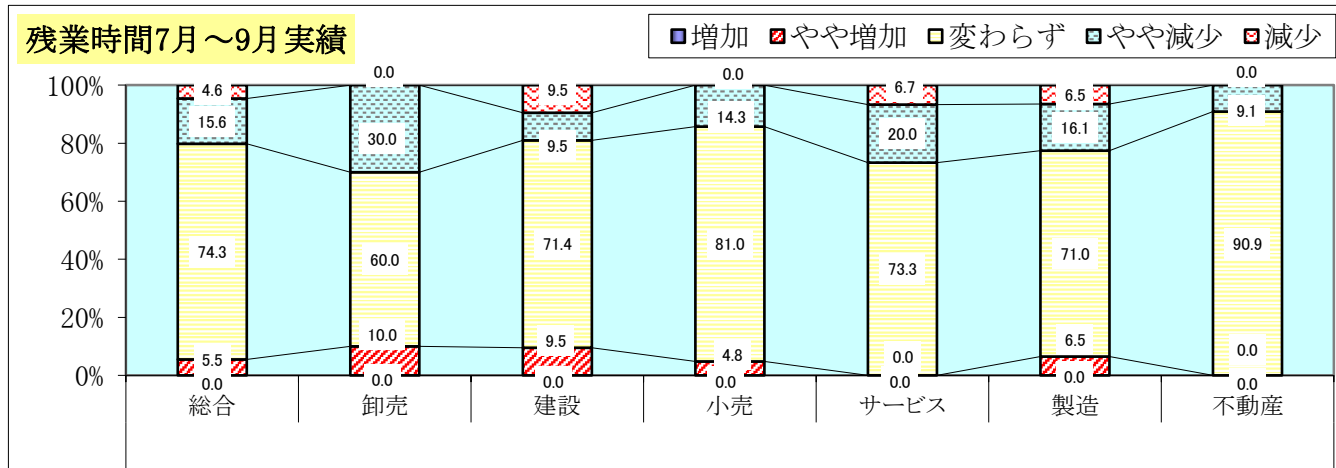


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が16.1%、「やや下降」「下降」と回答している企業が19.4%となり、D. I. は△3.3となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. I. 3.1に対し6.4ポイントの下降となりました。
- 業種別では、卸売業の販売価格は上昇し、小売業では下降となりました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

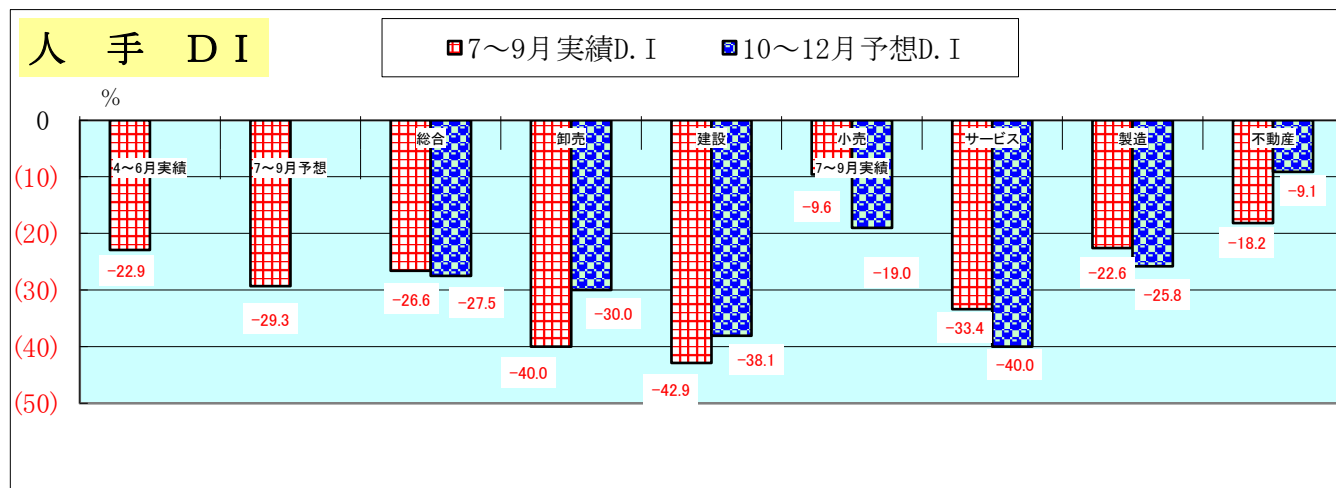
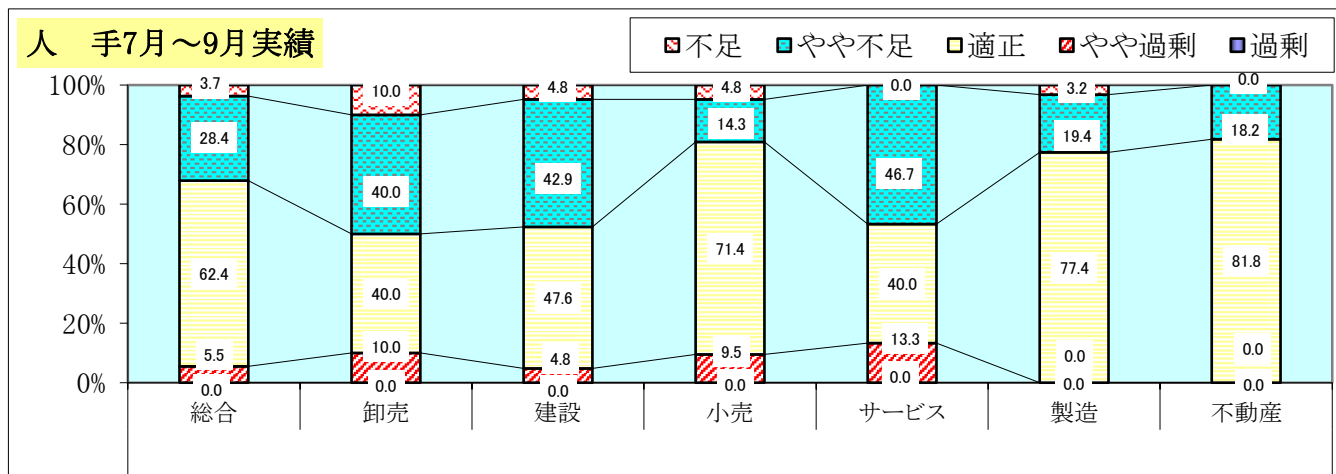
残 業 時 間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-13.7	
7～9月予想							-4.6	
7～9月実績	総合	0.0	5.5	74.3	15.6	4.6	-14.7	-12.8
	卸売	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	-20.0	0.0
	建設	0.0	9.5	71.4	9.5	9.5	-9.5	-14.3
	小売	0.0	4.8	81.0	14.3	0.0	-9.5	-0.1
	サービス	0.0	0.0	73.3	20.0	6.7	-26.7	-26.7
	製造	0.0	6.5	71.0	16.1	6.5	-16.1	-19.4
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が5.5%、「やや減少」「減少」と回答している企業が20.2%でD. I. は△14.7となりました。
- 今期実績は前期実績D. I. △13.7に対し0.1ポイント残業時間が減少となった。前回調査における今期予想D. I. に対しては10.1ポイントの残業減少を示しました。
- 業種別では、全体的に残業は減少傾向ですが、サービス業と卸売業が大幅減少を示しています。
- 10～12月期の予想D. I. △12.8で、7～9月期実績より1.9ポイントの残業増加を予想しています。

(2) 人手

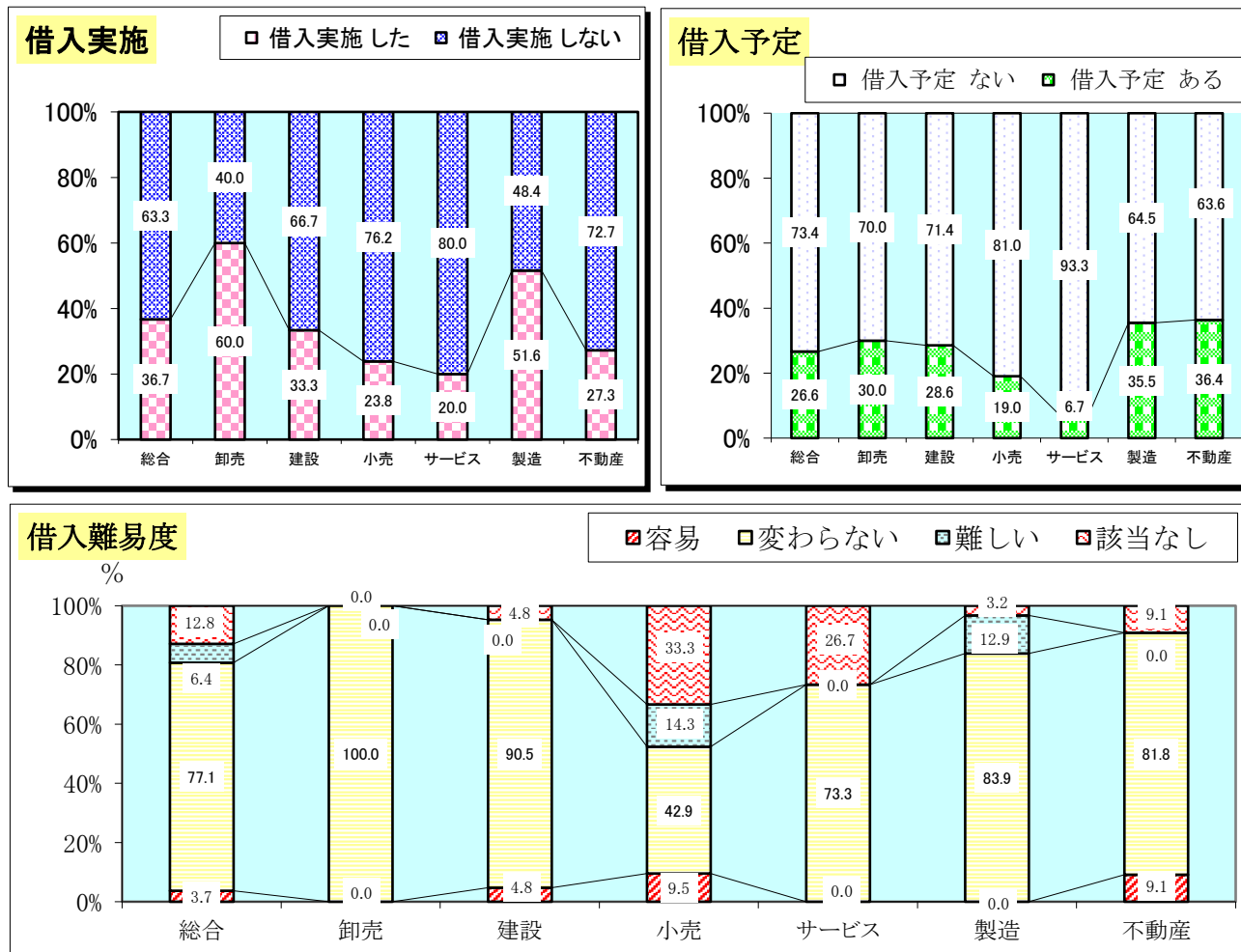
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-22.9	
7～9月予想							-29.3	
7～9月実績	総合	0.0	5.5	62.4	28.4	3.7	-26.6	-27.5
	卸売	0.0	10.0	40.0	40.0	10.0	-40.0	-30.0
	建設	0.0	4.8	47.6	42.9	4.8	-42.9	-38.1
	小売	0.0	9.5	71.4	14.3	4.8	-9.6	-19.0
	サービス	0.0	13.3	40.0	46.7	0.0	-33.4	-40.0
	製造	0.0	0.0	77.4	19.4	3.2	-22.6	-25.8
	不動産	0.0	0.0	81.8	18.2	0.0	-18.2	-9.1



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が5.5%、「やや不足」「不足」と回答している企業が32.1%で、D. I. は△26.6となりました。
- 今期実績は前期実績D. I. △22.9から3.7ポイント人手不足が進んだ、前回調査における今期予想D. I. △29.3に対しては、2.7ポイント人手不足の解消となりました。
- 業種別では、全業種で人手不足傾向となっており、建設業・卸売業では深刻な状況となっている。
- 10～12月期予想D. I. は△27.5で、7～9月期実績D. I. より0.9ポイントの人手不足を予想しており、一層人手不足が深刻となる。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	36.7	63.3	26.6	73.4	3.7	77.1	6.4	12.8
卸売	60.0	40.0	30.0	70.0	0.0	100.0	0.0	0.0
建設	33.3	66.7	28.6	71.4	4.8	90.5	0.0	4.8
小売	23.8	76.2	19.0	81.0	9.5	42.9	14.3	33.3
サービス	20.0	80.0	6.7	93.3	0.0	73.3	0.0	26.7
製造	51.6	48.4	35.5	64.5	0.0	83.9	12.9	3.2
不動産	27.3	72.7	36.4	63.6	9.1	81.8	0.0	9.1

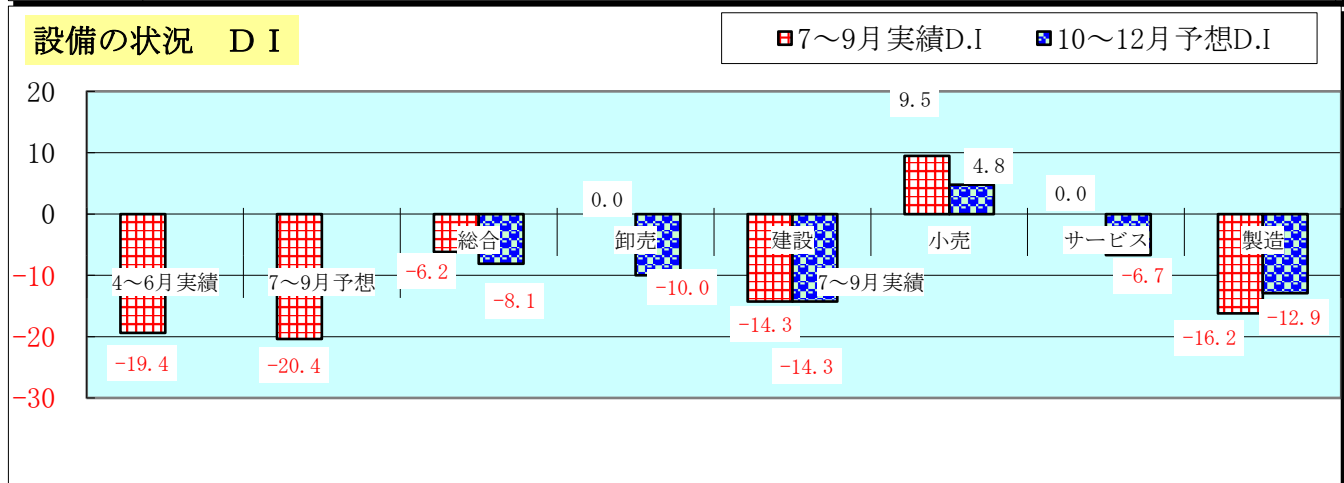
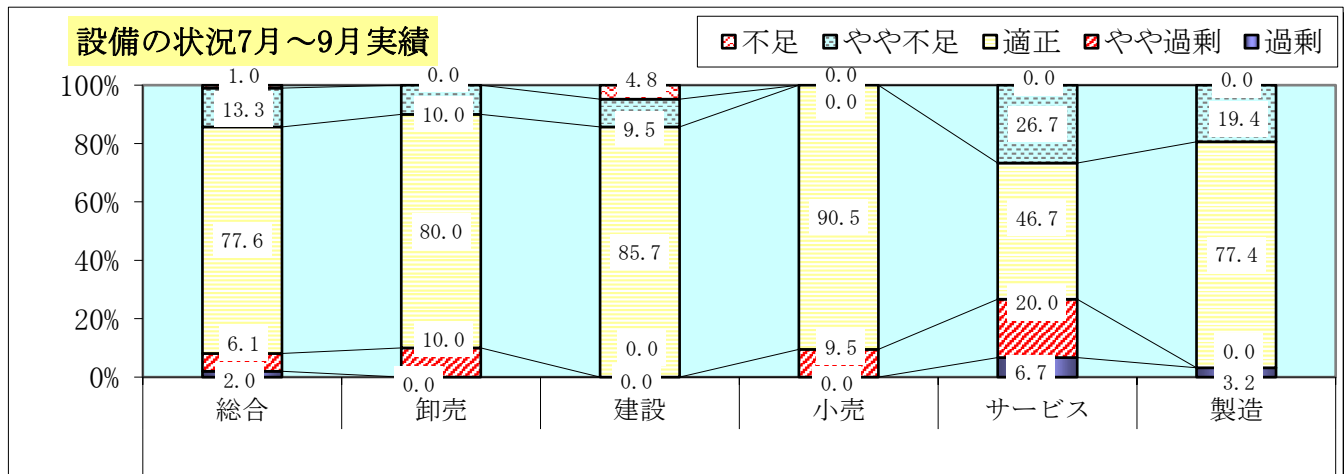


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の36.7%であり、全ての業種で借入を実施しています。前回調査では借入実施率33.0%となっています。
- 今後の借入予定では、26.6%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、不動産業36.4%、製造業35.5%、卸売業30.0%、建設業28.6%、小売業19.0%等となっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が77.1%（前回67.9%）、「容易」は3.7%（前回10.1%）、「難しい」は6.4%（前回12.8%）となっています。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I	10～12月予想D. I
4～6月実績							-19.4	
7～9月予想							-20.4	
7～9月実績	総合	2.0	6.1	77.6	13.3	1.0	-6.2	-8.1
	卸売	0.0	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0	-10.0
	建設	0.0	0.0	85.7	9.5	4.8	-14.3	-14.3
	小売	0.0	9.5	90.5	0.0	0.0	9.5	4.8
	サービス	6.7	20.0	46.7	26.7	0.0	0.0	-6.7
	製造	3.2	0.0	77.4	19.4	0.0	-16.2	-12.9



- 設備の状況(不動産業を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が8.1%、「不足」「やや不足」と回答している企業が14.3%で、今期D. I. は△6.2となりました。
- 今期実績は、前期実績D. I. △19.4に対して13.2ポイントの改善を示し、前回調査における今期予想D. I. △20.4に対しても14.2ポイントの改善となりました。
- 業種別では、製造業と建設業で不足を示しており、一方、小売業に於いては過剰傾向を示している。
- 10～12月期予想D. I. は△8.1で、7～9月期実績D. I. より1.9ポイントの不足を予想しています。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容		土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7～9月(件数) 総合		2	8	7	7	11	1	73
	卸売	0	0	2	1	1	0	8
	建設	1	3	1	2	3	0	14
	小売	0	－	－	1	1	1	19
	サービス	1	3	0	1	0	0	11
	製造	0	2	4	2	6	0	21

設備投資の予定内容		土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
10～12月(件数) 総合		1	3	4	5	7	1	82
	卸売	0	0	0	1	1	0	9
	建設	0	1	2	2	5	0	14
	小売	1	－	－	0	0	1	20
	サービス	0	0	0	1	0	0	14
	製造	0	2	2	1	1	0	25

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ36件で前期の31件を5件上回りました。業種別内訳では、製造業14件、建設業10件、サービス業5件等となっています。実施した設備内容は「車両」11件、「機械新增設」8件、「機械更新」・「事務機器」が各7件、「土地建物」2件、「その他」1件となっています。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した件数は延べ21件となっています。業種別内訳では建設業10件、製造業6件、卸売業2件、小売業2件、サービス業1件が予定されています。設備投資計画の内容を見ると、「車両」7件、「事務機器」5件、「機械更改」4件、「機械新增設」3件、「土地建物」・「その他」が各1件を予定しています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集 計 項 目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構 成 比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前 期	今 期
売上の停滞・減少	6	4	8	10	10	9	5	8	11	13	4	3	44	47	16.7	18.4
同業者間の競争激化	0	0	4	4	7	2	1	2	1	2	1	2	14	12	5.3	4.7
利幅の縮小	5	3	7	5	6	5	2	3	12	10	2	2	34	28	12.9	10.9
人件費の増加	1	2	2	4	1	2	4	5	3	6	3	2	14	21	5.3	8.2
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	1	1	0	0	0	0	5	5	8	7	0	0	14	13	5.3	5.1
人件費以外の経費の増加	2	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	4	5	1.5	2.0
大手企業（大型店）との競争激化	2	1	1	1	3	4	1	3	0	0	0	0	7	9	2.7	3.5
合理化の不足	1	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	3	4	1.1	1.6
天候の不順	0	0	0	1	1	3	2	1	1	3	0	0	4	8	1.5	3.1
代金回収の悪化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0.8	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	7	6	0	0	3	3	15	11	0	0	25	20	9.5	7.8
地場産業の衰退	0	1	2	2	2	1	2	1	3	2	0	0	9	7	3.4	2.7
集客力の低下	0	0	3	0	2	3	0	0	0	0	0	0	5	3	1.9	1.2
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	5	5	7	8	2.7	3.1
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	4	1	1.5	0.4
人手不足	3	2	7	11	6	5	4	4	6	6	2	2	28	30	10.6	11.7
商圏人口の減少	0	0	0	0	9	10	4	2	0	0	0	0	13	12	4.9	4.7
取引先の減少	2	2	0	0	4	3	2	1	0	0	0	0	8	6	3.0	2.3
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	2	2	0	0	0	0	3	2	0	0	5	4	1.9	1.6
輸入製品（商品）との競争激化	1	1	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	5	4	1.9	1.6
問題なし	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	3	3	1.1	1.2
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.0	0.8
流通経路競争の激化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0.8	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.4	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
仕入先からの値上要請	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	2	4	0.8	1.6
下請けの確保難	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	3	3	1.1	1.2
合 計	27	22	46	49	57	50	39	40	73	76	21	19	263	256	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」
第2位～ 「人手不足」
第3位～ 「利幅の縮小」

47 件
30 件
28 件

前期

第1位～ 「売上の停滞・減少」 44 件
第2位～ 「利幅の縮小」 34 件
第3位～ 「人手不足」 28 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
製 造 業	売上の停滞・減少	13	原材料高・材料価格の上昇	11	利幅の縮小	10
小 売 業	商圏人口の減少	10	売上の停滞・減少	9	利幅の縮小・人手不足	5
建 設 業	人手不足	11	売上の停滞・減少	10	原材料高・材料価格の上昇	6
サービス業	売上の停滞・減少	8	人件費の増加、店舗設備の狭小・老朽化	5	人手不足	4

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集 計 項 目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構 成 比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前 期	今 期
経費を節減する	5	5	11	11	14	14	6	9	20	16	2	3	58	58	23.0	22.6
販路を広げる	5	7	6	6	0	0	4	3	14	15	2	2	31	33	12.3	12.8
情報力を強化する	1	1	6	5	0	0	0	0	6	5	5	6	18	17	7.1	6.6
人材を確保する	4	4	8	11	5	7	4	6	9	13	4	3	34	44	13.5	17.1
技術力を強化（高める）	0	0	9	9	0	0	3	2	0	0	0	0	12	11	4.8	4.3
流通経路の見直しをする	0	0	1	0	0	0	0	0	11	11	0	0	12	11	4.8	4.3
機械化を推進する	0	0	0	0	1	1	0	0	3	2	0	1	4	4	1.6	1.6
パート化を図る	1	2	3	1	2	4	3	2	1	1	2	2	12	12	4.8	4.7
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	2	0	1	1	0	0	1	3	2	1	0	0	6	5	2.4	1.9
宣伝・広告を強化する	1	0	0	0	0	0	4	0	0	2	1	0	6	2	2.4	0.8
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	3	1.2	1.2
新しい事業を始める	0	0	0	0	2	1	7	7	0	0	2	3	11	11	4.4	4.3
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	1.2	1.2
その他	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	3	0.4	1.2
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	5	7	2.0	2.7
特になし	0	1	0	2	2	2	0	0	1	1	3	3	6	9	2.4	3.5
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	2	2	4	4	0	0	0	0	6	6	2.4	2.3
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0.8	1.2
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0.8	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0.8	0.8
営業時間を延長する	1	2	0	0	8	5	0	0	0	0	0	0	9	7	3.6	2.7
提携先を見つける	2	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	5	3	2.0	1.2
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
教育訓練を強化する	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0.8	0.4
合 計	24	23	49	52	48	49	36	38	73	72	22	23	252	257	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 58 件
第2位～ 「人材を確保する」 44 件
第3位～ 「販路を広げる」 33 件

前期

第1位～ 「経費を節減する」 58 件
第2位～ 「人材を確保する」 34 件
第3位～ 「販路を広げる」 31 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位	
製 造 業	経費を節減する	16	販路を広げる	15
建 設 業	経費を節減する・人材を確保する	11	技術力を強化（高める）	9
小 売 業	経費を節減する	14	人材を確保する・売れ筋商品を取扱う	7
サービス業	経費を節減する	9	新しい事業を始める	7

特別調査

「消費税率引上げの影響と対応について」

問 1 今年（2019年）10月からの消費税率引上げ（8%→10%）について、貴社では、販売価格にどの程度反映（転嫁）できると考えていますか。あてはまるものを、次の1～4の中から1つお答えください。

	1. すべて反映 （転嫁）で きる	2. 一部の反映 （転嫁）に とどまる	3. まったく反 映（転嫁） できない	4. わからない						
合計（構成比）	44.0%	22.0%	11.9%	22.0%						
総合	48	24	13	24						
卸売	4	4	1	1						
建設	11	4	1	5						
小売	11	4	1	5						
サービス	4	7	2	2						
製造	14	5	3	9						
不動産	4	0	5	2						

上記質問の「すべて反映できる」は48先、「一部の反映にとどまる」は24先、「まったく反映できない」は13先、「わからない」は24先となった。1.については、製造が14先、建設・小売が各11先、卸売・サービス・不動産が各4先となった。2.については、サービスが7先、製造が5先、卸売・建設・小売が各4先となった。3.については、不動産が5先、製造が3先、サービスが2先、卸売・建設・小売が各1先となった。

問 2 今年（2019年）10月からの消費税率引上げ（8%→10%）は、当面の貴社の売上げに対し、どのような影響を与えると見込まれますか。最もあてはまるものを次の1～0の中から1つお答えください。

	1. 今年10月末 ごろまで減 少する	2. 今年12月末 ごろまで減 少する	3. 来年3月末 ごろまで減 少する	4. 来年6月末 ごろまで減 少する	5. 来年7月以 降も減少す る	6. どちらとも いえない	7. 影響はな い・変わら ない	8. むしろ増加 する	9. わからない	0. その他 （ ）
合計（構成比）	3.7%	3.7%	8.3%	1.8%	5.5%	31.2%	20.2%	0.0%	25.7%	0.0%
総合	4	4	9	2	6	34	22	0	28	0
卸売	0	0	1	1	1	2	1	0	4	0
建設	1	0	1	0	1	6	7	0	5	0
小売	2	2	2	0	3	7	3	0	2	0
サービス	0	0	2	0	1	5	2	0	5	0
製造	1	2	2	0	0	11	7	0	8	0
不動産	0	0	1	1	0	3	2	0	4	0

上記の質問で「どちらともいえない」34先、「影響はない・変わらない」22先、「来年3月末ごろまで減少する」9先と総数109先で59.7%を占めた。「わからない」も28先の回答となった。

問 3 今年（2019年）10月からの消費税率引上げ（8%→10%）後の収益を確保するために、貴社ではどのような対策を考えていますか。あてはまるものを次の1～0の中から最大3つお答えください。

	1. 販売価格を 全面的に引 き上げる	2. 販売価格を 個別品目・ 区分ごとに 見直す	3. 新事業・分 野への進出 を検討する	4. 仕入価格の 上昇を抑え る	5. 新しい仕入 れ先を検討 する	6. 駆け込み需 要の平準化 につとめる	7. いっそうの 経費削減に つとめる	8. 現状の業容 を拡大する	9. これまでと 変わらない	0. その他 （ ）
合計（構成比）	16.0%	9.6%	4.8%	16.0%	1.1%	3.2%	26.6%	6.4%	16.5%	0.0%
総合	30	18	9	30	2	6	50	12	31	0
卸売	3	3	0	6	0	1	6	1	1	0
建設	2	1	2	6	0	1	10	6	7	0
小売	8	4	1	5	0	3	14	1	4	0
サービス	7	4	1	5	2	0	8	0	2	0
製造	8	5	2	8	0	1	11	3	10	0
不動産	2	1	3	0	0	0	1	1	7	0

上記の質問に対して、構成比で「いっそうの経費削減につとめる」26.6%、「これまでと変わらない」16.5%、「販売価格を全面的に引き上げる」・「仕入価格の上昇を抑える」が各16.0%と上位の結果となりました。

問 4 貴社は、今回導入される予定の軽減税率制度について、レジの改修や帳簿、請求書、価格表示変更などの何らかの対応をとっていますか。最もあてはまるものを次の1～6の中から1つお答えください。

	1. 対応は完了 した	2. 対応はほぼ 完了した	3. 対応を始め たが、間に 合わない	4. 対応すべき だが、でき ていない	5. 自社とは関 係がない	6. そもそも、 自社と関係 があるかわ からない				
合計（構成比）	9.2%	22.0%	10.1%	15.6%	35.8%	7.3%				
総合	10	24	11	17	39	8				
卸売	0	2	3	2	3	0				
建設	2	4	1	1	10	3				
小売	2	6	4	3	5	1				
サービス	3	5	1	4	2	0				
製造	2	7	2	7	10	3				
不動産	1	0	0	0	9	1				

上記の質問に対して、「自社とは関係ない」39先、「対応はほぼ完了した」24先、「対応すべきだが、できていない」17先、「対応を始めたが、間に合わない」11先、「対応は完了した」10先、「そもそも、自社と関係あるかわからない」8先との結果となった。

問 5 消費増税など経済環境が大きく変化しているなかで、貴社では、今春、賃金を引き上げましたか。引き上げた場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の1～5の中から1つお答えください。引き上げていない場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の6～0の中から1つお答えください。

	賃金を引き上げた理由					賃金を引き上げていない理由				
	1. アベノミク スの流れを 踏襲	2. 従業員の処 遇改善	3. 自社の業績 改善を反映	4. 人手不足を 背景とした 賃金上昇	5. その他 ()	6. 自社の業績 低迷	7. 景気見通し が不透明	8. 諸経費増で 支払余力な し	9. 当面のところ は様子を見 ている	0. その他 ()
合計（構成比）	0.0%	26.6%	1.8%	7.3%	0.0%	9.2%	10.1%	4.6%	39.4%	0.9%
総合	0	29	2	8	0	10	11	5	43	1
卸売	0	3	0	1	0	0	2	1	3	0
建設	0	8	1	2	0	2	2	0	6	0
小売	0	7	0	0	0	2	1	1	10	0
サービス	0	3	0	1	0	3	1	1	6	0
製造	0	6	1	3	0	3	4	2	11	1
不動産	0	2	0	1	0	0	1	0	7	0

上記の質問に対して、「賃金を引き上げた理由」については、構成比で「従業員の処遇改善」26.6%、「人手不足を背景とした賃金上昇」7.3%となり、一方「賃金を引き上げていない理由」では、「当面のところは様子を見ている」39.4%、「景気見通しが不透明」10.1%、「自社の業績低迷」9.2%等が上位の回答となった。